

講義録レポート

講義録コード

03-21-3-01-[1] - [0] [3]

講 座	税 理 士	科目	簿記論
目標年	2021年合格目標	テキスト	No. (1)
コース	速 修	回 数	第 (3) 回
用 途	・ビデオブース ・WEB通信 ・DVD通信 ・資料通信 ・Webフォロー ・音声DLフォロー		

収録日	2020 年 9 月 11 日		
講師名	瀬戸川 豊 先生	板 書	3 枚 ※レポート含まず
		その他	2 枚 (名称／該当教材) 補助レジュメ
			(名称／該当教材)

授業構成	講義 ⇒ 講義 ⇒ 講義 テキストP.42～P.46 テキストP.47～P.55 テキストP.56～P.67		
実施 テスト	【 ● 】ミニテスト テキストNo.(1)第(3)回 【 】実力テスト 【 】その他 () 【 】なし		テストでの正誤
			【 】あり 【 ● 】なし
	実施時間 (5) 分		【 】問題 【 】解答用紙 【 】解答解説
使用教材	【 ● 】基本テキスト No.(1) 該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください 【 】トレーニング No.() 【 】その他()		
配布教材	【 】基本テキスト No.() 【 】その他()		
	【 】トレーニング No.() 【 】その他()		
	【 】トレーニングシート No.()		
	【 】テスト帳合レジュメ ≪講義録添付なし≫ ()		
	【 】別途配布レジュメ ≪講義録添付あり≫ ()		
備考	* ビデオブースにてご視聴の方へ 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認下さい。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)		
	補助プリントはB5サイズで印刷してください。(瀬戸川)		

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

T A C 税理士講座

トレ 問題 19

★ 分かりやすくするために、当社の現金預金は「現金と当座預金のみ」と仮定して説明します。（普通預金や定期預金などはないものと仮定します。）

ポイント① 前T/B現金預金

前T/Bには「現金預金」という勘定科目が載っていますが、これは現金から当座借越が引かれた金額を意味しています。つまり、現金の残高は与えられていませんが、そこから当座借越 1,412 千円が控除されて、82,638 千円という金額が前T/Bに載っていることになります。そうすると、現金の残高は逆算によって 84,050 千円と求めることができます。

「現金預金」という勘定科目は「現金」「当座預金」などの勘定科目をひっくるめた勘定科目ですが、実は「当座借越」も現金預金勘定の構成要素の1つなのです。

ポイント② 未預入小切手

【資料2】(2)は一般に「未預入小切手」と言われるもので、誤記帳の一種です。

当社は小切手を、決算日のうちに当座預金口座へ預け入れるつもりでいたのですが、あらかじめ(借)当座預金 420 (貸)現金 420 という仕訳をしておきました。ところが銀行へ預け入れに行くことをすっかり忘れてしまって、実際には翌日（つまり翌期！）になってから銀行へ預け入れに行ったのです。そうすると、決算日時点で考えれば、当座預金残高は結局増えなかったことになります。当社は小切手の状態で手許に保有していたことになりますから(借)現金 420 (貸)当座預金 420 という反対仕訳をして戻していきます。この仕訳でお分かりのとおり、未預入小切手は「当社側・減算」の調整をすることになります。

仕訳についての補足ですが、この問題では現金預金勘定が使用されているため、実際には現金預金勘定に置き換えて(借)現金預金 420 (貸)現金預金 420 という仕訳をすることになってしまいます。

ポイント③ 短期借入金への振替

【資料2】(1)の振込未記帳と(2)の未預入小切手と(4)の引落未記帳について修正仕訳を行うと、現金預金勘定の残高は 83,583 千円となりますが、この金額は現金 84,470 千円（上記①の 84,050 千円に上記②の 420 千円が加算されています。）から当座借越 887 千円（銀行勘定調整表一番下の修正後残高）を控除した金額を表しています。このように帳簿上は現金から当座借越を引いた形になっていますが、B/Sを作成するにあたっては修正が必要になります。現金は資産として、当座借越は負債として、分けて表示しなければならないからです。資産から負債を引いて表示することは認められないのです。

そうすると、現金預金勘定の残高は 83,583 千円となっていますが、これを純粋に現金（資産）のみの 84,470 千円に直しますので、仕訳は(借)現金預金 887 となります。そして、当座借越 887 千円は資産からのマイナスではなくて、キチンと負債として計上することになりますので(貸)短期借入金 887 という仕訳になります。



設 例 一般債権（貸倒実績率がない場合）

(1) 決算整理前試算表 (単位)

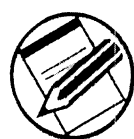
受 取 手 形	10,000	貸 倒 引 当 金
売 掛 金	20,000	

(2) 決算整理前試算表の受取手形及び売掛金はすべて一般債権に該当し、一般積高は、債権残高に貸倒実績率を乗じて算定する。なお、一般債権の平均回未満であり、貸倒実績率は次の①～③の平均値とする。また、決算整理前試算貸倒引当金は、すべて一般債権に係るものである。

- ① 前々々期末の債権残高に対する前々期の貸倒損失額の割合
- ② 前々期末の債権残高に対する前期の貸倒損失額の割合
- ③ 前期末の債権残高に対する当期の貸倒損失額の割合

単位：円	前々々期	前々期	前期	当期
債権の期末残高 (貸倒損失発生額)	60,000 0.024 → (1,440)	0		
債権の期末残高 (貸倒損失発生額)		70,000 0.022 → (1,540)	0	
債権の期末残高 (貸倒損失発生額)			80,000 0.014 → (1,120)	0

(3) 会計処理は差額補充法により処理する。



解 説 (単位：円)

1 貸倒実績率の算定

(1) 前々期・貸倒損失1,440 ÷ 前々々期末残高60,000 = 0.024

(2) 前期・貸倒損失1,540 ÷ 前々期末残高70,000 = 0.022

(3) 当期・貸倒損失1,120 ÷ 前期末残高80,000 = 0.014

税理士講義録	速修	科目	簿記論	回数	テキストNo.1 第3回
コース・講義等					

配布物	★テスト類： []	講師	瀬戸川 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒板内容

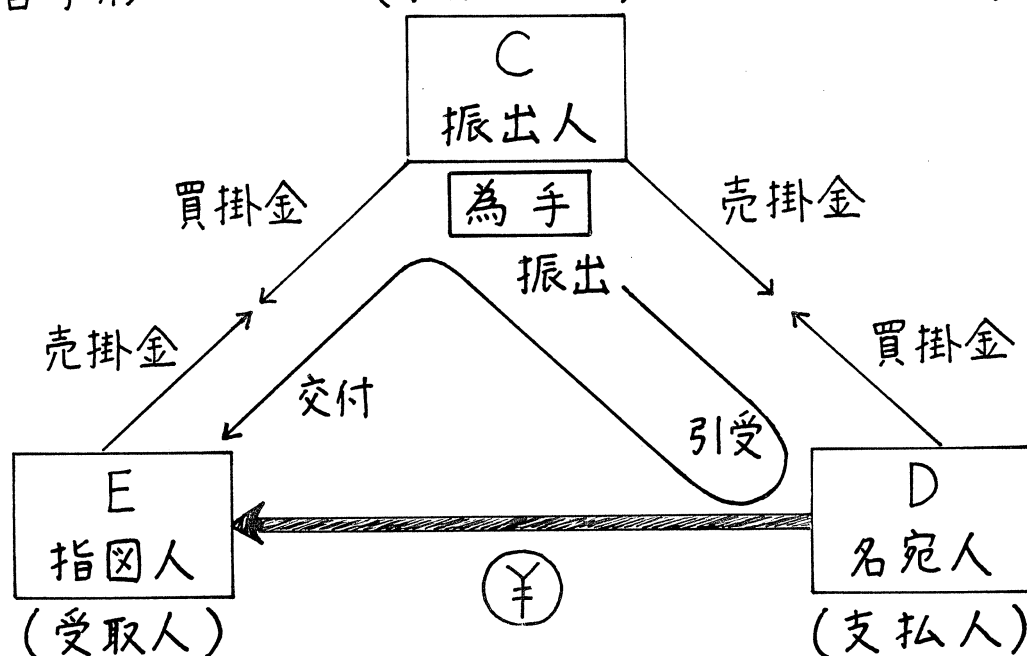
㊦ 銀行勘定調整表 前T/B < P.44 >

当座預金勘定残高 10,000,000		銀行証明書残高 9,920,000	
加算	未渡小切手 700,000	加算	時間外預入 100,000
	振込未記帳 500,000		未取立小切手 150,000
	誤記帳		
減算	引落未記帳 600,000	減算	未取付小切手 200,000
	誤記帳 630,000		
修正後残高 9,970,000		修正後残高 9,970,000	

当社側の調整項目については修正仕訳も行う!

この一致額が後T/B(B/S)に載る

㊦ 為替手形 (手形作成人) < P.47 >



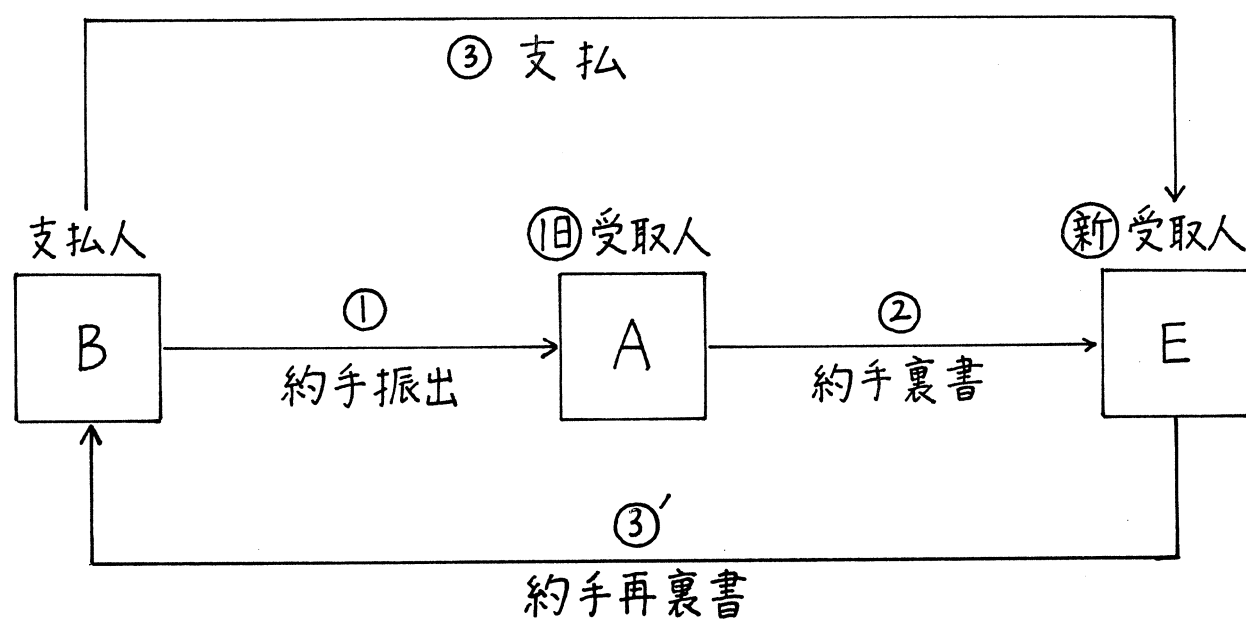
税 理 士 講義録	速修	科 目	簿記論	回 数	テキストNo.1 第3回
コース・講義等					

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	瀬戸川 先生
	★その他の配布物1 : []		
	★その他の配布物2 : []		

黒 板 内 容

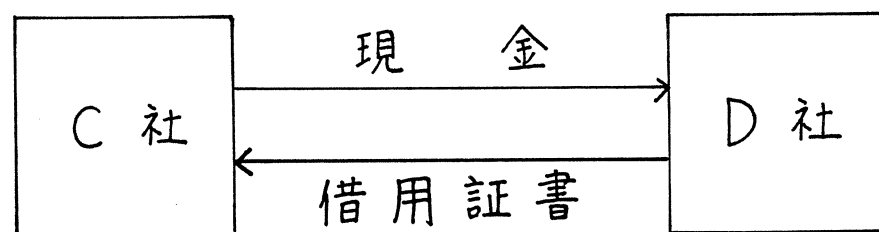
㊦ 手形の裏書

< P.51 >

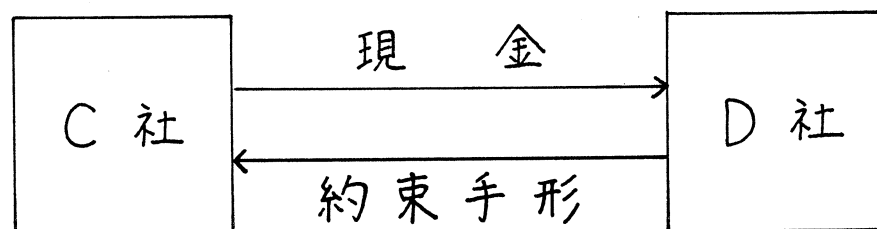


㊦ 証書貸付(借入)

< P.58 >



㊦ 手形貸付(借入)



税 理 士 講義録	コース講義等	速修	科目	簿記論	回数	テキストNo.1 第3回
-----------	--------	----	----	-----	----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : [] ★その他の配布物1 : [] ★その他の配布物2 : []	講師	瀬戸川 先生
-----	---	----	--------

黒 板 内 容

④ 貸倒見積高 (= 貸引設定額) の算定 < P.60 >

① 一般債権 ⇨ 「貸倒実績率法」による総括引当

$$\text{貸倒見積高} = \text{債権金額} \times \text{貸倒実績率} \times$$

(600) 30,000 2%

※ $\frac{\text{貸倒発生額}}{\text{期末債権残高}}$ の過去平均値

$$(0.024 + 0.022 + 0.014) \div 3 \text{年} = 0.02$$

② 貸倒懸念債権 ⇨ 「①財務内容評価法」または 「②CF見積法」による個別引当

$$\text{貸倒見積高} = (\text{債権金額} - \text{担保・保証}) \times \text{設定率}$$

5,000 15,000 5,000 50%

③ 破産更生債権等 ⇨ 「財務内容評価法」による個別引当

$$\text{貸倒見積高} = (\text{債権金額} - \text{担保・保証}) \times 100\%$$

10,000 15,000 5,000